

# 夏の舞台 多古高野球部が健闘

第101回全国高等学校野球選手権千葉大会は7月10日に開会式が行われ、163チームが熱戦を繰り広げました。多古高校は初戦、3回戦と順当に勝ち上がりましたが、続くAシードの銚子商業高校との対戦で敗れ、ベスト32で幕を閉じました。最後まで諦めない球児の姿や声援を送る多古高生の姿がありました。



2回戦 (7月12日)  
 ナスパ・スタジアム (成田市)  
 東総工業 000001001  
 多古 021000000  
 3



3回戦 (7月17日)  
 市川国府台球場 (市川市)  
 麗澤 0000000  
 多古 0414000  
 9 (7回コールド)

4回戦 (7月19日)  
 柏の葉公園野球場 (柏市)  
 多古 000000000  
 銚子商業 030200010  
 6



多古高野球部  
 キャプテン  
 菅井 芳樹さん

初戦、次の試合も勝利し、銚子商業にも自分たちの野球で勝とうと挑みましたが力及ばず負けてしまいました。公式戦ではなかなか勝てず、そんな自分たちを最後の夏の大会でここまで勝たせてくれた迫屋先生には感謝の気持ちでいっぱい、迫屋先生がいなかったらここまで続けてこれなかったと思います。

怪我をせずと野球ができなかった同級生が2人いて、辞めてしまった仲間がいた中でも最後まで続けてくれました。手伝いなどでチームに貢献してくれた2人の為にも勝ちたいという思いでここまで頑張ってきました。

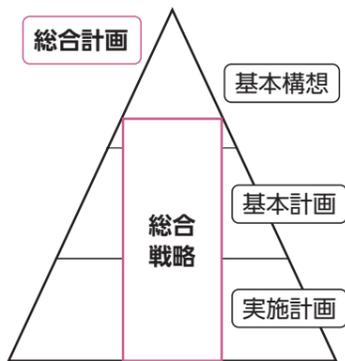
もう少し長く皆と野球がしたかったのですが、自分たちの力を出し切れたので悔いの残らない高校野球でした。



## 次期多古町総合計画・総合戦略を策定します 持続可能なまちを目指して

町では、平成23年度に「人・文化・自然 みんなでつくる 潤いのまち多古」を将来像とする計画期間10年の「多古町総合計画」を策定し、将来像の実現に向けた取り組みを進めています。また、全国的な人口減少が深刻化している中で、人口減少を緩やかにするため緊急性のある政策を重点戦略とした、計画期間5年の「多古町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年度に策定しました。それぞれが計画期間満了を迎えるにあたり、新たな計画の策定に着手しました。

■総合計画は町の経営方針  
 総合計画は、まちづくりを進めていく上での重要な指針となる町の最上位計画と位置づけられているものであり、社会変化が激しい現在において、その重要性は以前に増して高まっています。また、総合戦略は、国が策定する総合戦略（国版総合戦略）を踏まえた上で、将来にわたり持続可能なまちづくりを目指すもので、「人口減少の抑制」と「人口減少への適応」という視点からの計画であり、総合計画と密接な関係にあります。



- 基本構想  
 まちづくりの「基本理念」と目指す「将来像」を明確にし、実現するための大綱を定めたもの
- 基本計画  
 基本構想の目的を達成するための施策を部門別に関連づけてまとめ、具体的に示したもの
- 実施計画  
 基本計画に基づいて個別施策・事業の実施について1年ごとに位置づけるもの



8月1日に開催した第1回審議会

■参画と協働による計画づくり  
 計画の策定は、まちづくりの第一歩であり、地域のことは地域住民が自ら責任を持って決めて実行していくといった地方分権の機運が醸成しつつあります。今後は多様化そして複雑化する住民ニーズを的確に捉えて反映することが重要です。住民アンケートや、まちづくりの課題等の解決策を町民と町職員と一緒に考える町民ワークショップを実施するなど、多様な住民参画の機会を計画策定プロセスにおいて設けるなど、協働による計画づくりを目指します。

■町民アンケートへのご協力  
 町が行う施策に対する満足度を把握し、町民の皆さんの意見や満足度等を計画に反映するため、町民アンケートを実施しています。（16歳以上、無作為抽出で2千名）アンケート用紙が送られた方は、計画策定に大変重要なアンケートですので、必ずご返送をお願いします。

■ワークショップの参加者を募集  
 参加者が複数のグループに分かれ、まちづくりに関係するテーマに対して自由に意見を出し合い、お互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめあげていく場である「ワークショップ」を開催します。まちづくりに皆さんのご意見をお聞かせください。

今年度は、10月から3回程度の開催を予定しています。ワークショップの詳細や参加をご希望の方はP6上段のお問合せ先までご連絡ください。

